



はっけん

たから

発見！とおかまちの宝もの



今年度のとおかまちメニューのテーマは『発見！とおかまちの宝もの』です。十日町市には、火焰型土器に代表されるように他に誇れるものがたくさんあります。十日町市は、歴史、文化、産業、自然の宝庫なのです。給食を通して魅力ある『とおかまちの宝もの』を見つけましょう。

食^たべて学^{まな}ぼう！「令和8年・6月号」
とおかまちメニュー新聞^{しんぶん}

縄文時代と火焰型土器のクニ

縄文時代の人たちはどんなものを食べていたの？

木の実や山菜、海や川でとった魚や貝、狩りで捕らえた獣などを食べていたよ。



縄文土器で煮炊きができるようになって食べられる食材が増えたのよ。

十日町市では、笹山遺跡をはじめ、縄文時代の遺跡が数多く発掘されています。縄文時代の人々の暮らしを伝える貴重な文化遺産です。

6月のとおかまちメニューでは、縄文時代に食べられていたとされる食材を紹介します。縄文時代にタイムスリップした気持ちになれる献立です。

「じょうもん市」に参加します！

なかじょうちゅうがっこう
中条中学校



毎年6月に笹山遺跡ひろばで開催される「笹山じょうもん市」は、火焰型土器などが国宝に指定されたことを記念し始まった縄文のイベントです。

「地域の宝物を大切にしたい」という思いが込められています。

このイベントに当校の生徒が大勢参加しています。昨年度は生徒会が「縄文〇×クイズ」を行いました。今年度も生徒会の新たな企画とボランティアで参加します。（写真提供…中条中学校）